

human

No255

2013/7

医療を通じて人と人とのふれあいを広めるために
ヒューマン(人)と名付けました。



「蓮の花とトンボ(太郎と花子)」

救急指定・労災指定病院	さくら総合病院	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129 (0587)95-6711(代)
老人保健施設	さくら荘	愛知県丹羽郡大口町新宮1-96 (0587)95-6722
訪問看護ステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8623
ヘルパーステーション	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8026
居宅介護支援事業所	あすかビレッジ	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10(太郎と花子内) (0587)95-8027
デイケアセンター	御 嶽	愛知県丹羽郡大口町新宮1-129(さくら総合病院2F) (080)5294-5728
有料老人ホーム	太郎と花子	愛知県丹羽郡大口町新宮1-10 (0587)95-0111



<http://www.ijinkai.or.jp>

E-mail: info@ijinkai.or.jp

私の趣味

歯科口腔外科 今井 隆生

humanに何かをと連絡を頂いたが、文才などなく、経歴に特筆すべきこともないので、趣味についてお話をさせて頂きます。

私は田舎育ちのため、幼稚園の頃から近所の川へ魚採りに出かけ、疲れると土手に転がり飛ぶ鳥や流れる雲を眺めているのが好きだった。採った魚は家に持ち帰り、置き型の池で飼っていたが、次第に魚も増え池も大きなものに変わっていった。

小学一年の時に母の知人の方からアヒルのヒナを貰い、ガーコと名付けた。

数か月もするとかなり大きくなり、学校から帰ると近所の川にガーコを連れて散歩することが日課となった。置き型の池はガーコのものとなり、池を追われた魚たちは水槽で飼うことになった。

小学三年の時にテレビで南米アマゾン川の特集があり、流域に棲む魚たちの素晴らしさを見て、日本産淡水魚から熱帯魚へと飼育が移っていった。小学四年の終わり頃には10本程の水槽を部屋に置き、アマゾン水系の巨大魚を中心とした飼育になっ

ていた。特にレッドテールキャット(とても愛嬌のあるナマズです)が好きで、六年の頃には70cm位にまで成長し、手からエサを食べる程なれていた。その頃の夢は、巨大プール水槽にアマゾン川の魚たちを泳がせ、熱帯林の中をオオハシ(嘴がオレンジのかわいい鳥です)が飛び交う温室をつくることであつた。

しかし、中学一年の夏休み前に、友であつたレッドテールキャットが死んでしまい、あまりのショックからすべての生き物の飼育をやめることにした。小鳥たちは小学校へ、熱帯魚たちは東山動物園へ、そしてガーコは岐阜のお寺の池へと貰われていった。とても辛く、さびしい日々

が続いたことを今でも覚えていいる。

父は転勤族で当時金沢支社におり、心配した母が気分転換にと夏休みの金沢行を勧めた。あまり気がすすまなかつたが、八月上旬に行くことになった。しかし、当日になり父に急用ができたとのことで、金沢駅には会社の方と石川県寺井町にある陶器商の社長さんが迎えに来て下さつた。名所・旧跡を案内してもらい、ある所で一枚の大きな皿に出会つた。古九谷の名品で、そのすばらしさにとっても感動した。そんな私の様子を見てか、翌日も九谷焼の名品の数々を見せてもらい、興奮冷めやまぬまま家に帰つた。それから母や祖母に無理を言っ

て、仕舞い込んである花瓶や皿を出してもらい、もちろん古九谷などの名品などなく、ほとんどが犬山焼であったが、水槽のかわりに部屋にならべることになった。これが私と焼き物との出会いである。

この社長さんも数年前に亡くなられたが、それまで30年以上の長きにわたり大変お世話になった。石川の地で活躍された浅蔵五十吉先生、徳田八十吉先生、現在も赤絵細描の第一人者として活躍される福島武山先生など多くの先生方とその作品との出会いをつくって頂いた。さらには、九州有田で活躍された今泉今右衛門先生や六月十五日に亡くなられた酒井田柿右衛門先

生の作品との出会いなど、貴重な機会を頂き大変感謝している。色絵磁器の先生方であったことから花瓶や額皿、香炉や香合が作品の中心であったが、平成四年に行われた「日本の陶芸・今100選展」で鈴木蔵先生の志野茶碗や樂吉左衛門先生の黒樂茶碗と出会ってからはその魅力にとり付かれてしまい、個展や展覧会も茶碗が中心となっていた。蔵先生はこの3年後の平成七年に重要無形文化財、いわゆる人間国宝になられたが、非常に気さくな方で、志野についていろいろなお話を聞かせて頂いたことを覚えている。私個人としては、岐阜県陶磁資料館に収蔵されている先生の作品が一番好

きである。よく焼き物の何がいいのかと聞かれるが、異性と同じようなものではないかと思っている。

平成八年の一月に十一代三輪休雪先生の個展が名古屋で行われた。萩焼の人間国宝で現代陶芸界の至宝とまで言われた方だが、その作品番号六の鬼萩茶碗が今でも忘れられないでいる。「震雪」という銘であったと思うが、私ではとても手に入れることができない価格で諦めたものの、初恋の女性への想いに似たようなものか、もう一度出会いたくて十数年間探し続けている。そうした点から言えば、当代樂吉左衛門先生の茶碗にはもう二十数年以上恋焦がれている。お茶の先生方からはお叱りを受

けるだろうが、当代の茶碗が一番素晴らしいと勝手に思っている。こうした思い込みも、やはり異性への思いとどこか似ているような気がする。そんな樂先生とも縁あつてか、数年前に京都のご自宅の茶室で、「栗太郎」という銘の黒茶碗で一服頂く機会があつた。手捏ねの茶碗は私の手にもすっぽりと落ち着き、まるで恋する女性と至福のひと時を過ごすかのような素晴らしい時間であつた。財もなく数寄者として生きることは残念ながら不可能であるが、心ときめく茶碗とのすてきな出会いが、これからも続くことを願っている。

*
*
ごあいさつ
*
*

小児科 河野好彦

はじめまして。2013年4月から毎週火曜午前の小児科外来を担当しています河野 好彦(かわの よしひこ)と申します。普段は名古屋大学大学院で主にウイルス感染症に関する研究をしています。

ウイルスと聞くとなんとなく怖いイメージがあるかもしれませんが、いわゆる『かぜ』『胃腸かぜ』を起こす原因の多くはさまざまなウイルスによるものです。インフルエンザなど一部のウイルスを除いてほとんどのウイルス感染症に特效薬はなく、しっかりと栄養を摂って体を休めて十分な睡眠を確保することが快復への近道であり何よりも大事です。ちなみに抗菌薬(抗生物質)は基本的に細菌感染症に対する治療薬であり、ウイルス感染症に対して効果はないばかりか特に小児では下痢など副作用が出ることが多々あります。また安易な抗菌薬の使用は耐性菌の増加につながり、細菌性髄膜炎など重症細菌感染症に対して本当に抗菌薬が必要となるときに治療に難渋するという大きな障壁となってしまいます。抗菌薬の適正使用につき、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。

新聞やテレビなどでご存知の方が多いかと思いますが、昨今、風疹の大流行が取りざたされています。発熱、発疹(紅く、小さく、やや隆起して全身に見られる)、リンパ節腫脹(特に首の後ろ)が主な症状で、基本的には自然に治りますがまれに脳炎などの合併症を起こすことがあります。症状がはっきりしないこと(=不顕性感染)が15~30%ほどあったり特に成人では発疹が典型的でなかったりすることがあり、風疹にかかったという自覚がないこともあります。そんな中、免疫がない妊婦さんに感染すると、生まれてくるお子さんの目、耳、心臓、発達などに重い障害(先天性風疹症候群)が出る可能性が大いに高まってしまいます。残念なこと但实际上に今年になって愛知県でも先天性風疹症候群の報告があります。予防が唯一の対策なのですが、20~40代の男性の15%で風疹への抗体がなく、20~40代の女性も4%で抗体がなく11%で抗体があっても感染予防に対して不十分であると報告されています。飛沫感染なので人混みや職場などで知らないうちに感染して(感染させて)しまっていることがありえます。妊娠する前には夫婦ともに(妊娠中の母体へのワクチン接種は不可&ワクチン接種後2か月間は避妊が必要)、また子作り世代じゃない人も含めてワクチン接種をして、自分と家族や周りの人々、そして生まれてくる赤ちゃんを風疹から守りましょう。ワクチン接種に関することは何でもお気軽にお問い合わせください。今後ともよろしくお願い致します。

*
*
ごあいさつ
*
*

看護部ICU師長 筒井香織

はじめまして。ICUの師長として配属になりました、筒井です。

さくら総合病院へ勤務して二週間がたとうとしています。最初の印象は「外観が個性的な建物で、院内はたくさんの彫刻や絵画がありきれいで、広い病院だなあ」でした。

もともと、私は方向音痴で駐車場に車を止め、離れて帰ってくるとたいてい忘れてしまい戻ってくると、自分の車を探しているということが多々あります。そのため、当たり前のようにこの二週間病院内を迷路のようにさまよっています。ICUからすぐ近くの看護部長室へも行けず廊下にある構内図を見てなんとか辿り着けるといった感じです。

きっと、みなさんには挙動不審のように見えるかもしれませんが、私はかなり必死になって検査室は、食堂はと探しているのでは是非道に迷っているのかなと思われた方は教えて下さい。

私は、さくら総合病院に来るまで約9年間カテ室勤務をしておりました。看護師になって3年目からカテに関わり正直こんな怖い所にいられないと毎日眉間にしわを寄せ、私の心臓もドキドキしていました。実は1年カテから離れていたのですが、この1年間はカテに携わりたくてうずうずしていました。

ハートセンターが開設されたばかりということで、9年間の私の経験をいかしながらみなさんとカテ室を作り上げていきたいと思っています。どんな成長がみられるか楽しみにしています。カテのことでわからないことがあれば、いつでも質問してきてください。

看護師13年目になりますが、一つの分野をやり続けてきたためカテ室以外の所では教えて頂く事が多いと思います。一日も早くさくら総合病院に慣れ、みなさんに顔を覚えていただけるようにしていきたいです。御指導、ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



太郎と花子 事務職員 松岡梨紗

私は昨年4月より太郎と花子で事務職員として勤務しております。私の中で事務職員という仕事のイメージはデスクワークでしたが、太郎と花子で働き始めて感じたのがコミュニケーションの大切さでした。入居者様とお話したり、散歩をしたり、レクリエーションをしたりと日常生活に関わっていく中で初めて入居者様のお声を聞くことが出来ます。

今年の6月からは平日のお茶会が始まり、今日はどんな和菓子かとわくわくしながら参加される姿が見受けられます。また、お茶を飲みながら談笑される姿はとても生き生きとしていらっしゃいます。

太郎と花子は、医療施設であるさくら総合病院が身近にあり、安心して過ごしていただける在宅型有料老人ホームです。私は何よりも入居者様の笑顔が大好きです。どうしたら笑顔でいてくれるだろう、快適に過ごして頂くにはどうしたらよいのだろうと考え、入居者様のお声を伺い、希望に沿うように動いていきたいです。ただ机に向かって事務作業をしているだけでは気づかないことが沢山あります。実際に触れ合うことで得るものの方がはるかに大きいです。これからもコミュニケーションを大切にして、信頼関係を築いていき、多くの笑顔がみられるように日々精進したいと思います。



第26回 「健康を守る教室」

テ マ : 『狭心症・心筋梗塞とは』～あなたの心臓は大丈夫?～
&セラバンドを使用した体操

日 時 : 平成25年7月27日 土曜日
13:00～14:00(受付12:30～)

場 所 : 新館1F ロビー

講 師 : 循環器内科 久原医師・理学療法士

参 加 料 : 無料

お問合わせ : 受付窓口もしくは医療連携室
Tel 0587-95-0015



みなさんは「狭心症」について正しく理解していますか?
過去に「狭心症」と診断された方、その後きちんと検査を受けていますか?
最近では生活習慣の欧米化に伴い、高齢者にとどまらず30～40代の働き盛りの方にもこの病が増えています。今回は狭心症や心筋梗塞についての原因や症状、また当院でできる検査や治療方法について分かりやすくご説明します。手遅れになる前に、きちんと検査を受けましょう。

※健康を守る教室の体操コーナーでおなじみのセラバンドを健康教室終了後に下記価格で販売をいたします。
ご希望の方はお申し出下さい。 黄色(弱)400円 緑色(中)460円 青色(強)520円

